



塚田 真理子

TSUKADA MARIKO

1980年 長野県出身
2009年 山梨県に移住
2018年5月 柏崎市へ



大人も幼児も車椅子の方もみんなで見る
ことができるプラネタリウムを柏崎で投影し
たいと、実行委員会を立ち上げた塚田真理
子さんは昨年、山梨県から夫の実家がある
柏崎へ移住。現在は3人の子育て中である。

塚田さんが開催しようとするイベントは、
移動型のプラネタリウム投影。送風機でドー
ムを膨らませ、その中で星空や宇宙を投影す
る「キャリングプラネタリウム」というもの。
屋内の体育館やホールなどに設置できるた
め車椅子でも簡単に入ることができる。ドー
ム内は40人ほどが見学でき、座ったり寝転
んだり、子どもを抱っこしながら見たり、話
を聞きながらしゃべったりしてもOKだとい
う。この出張プラネタリウムを全国に届けてい
るのが「(一社)星つむぎの村」という団体で
主に病院や支援学校などに多く出向き投影
を行っている。簡単には外に出ることができ
ない子供たちや大人に、点滴・ベッドで寝た
まま病室の天井に投影してプラネタリウムを
見せてくれる。その子が生まれた日の星空
や、星を見たことがない子供たちがまるで
宇宙旅行を楽しむように、生きていることは
奇跡だと感じてくれるという。

塚田さんがそのイベントを開催するきっか
けになったのは山梨でキャリングプラネタリ
ウムを見たこと。山梨県立科学館でオリジ

ナル番組をいくつも制作していた「星つむぎ
の村」代表で宙先案内人の高橋真理子さん
が投影する番組は、特別なスペースエンジ
ンをその場で操作し、美しい音楽と融合した
迫力ある映像、その場で会話するような温
かな語りが魅力で、まるで宇宙を旅してい
るような感動を与えてくれる。「このプラネタ
リウムを柏崎の人たちに届けられるのは、これ
を知っている自分しかない」と塚田さんは
その思いを話す。

塚田さんにとって知り合いのいない柏崎で
生まれて初めてのイベント開催は簡単ではな
かった。まずは育児サークルの代表に声を掛け、
「星つむぎの村」の協力を得て見学会を
開催した。そこに集まってくれた人の中から賛
同者を得てようやく実行委員会を立ち上げる
ことができた。その後は縁を頼り、紹介して
もらった企業や個人など様々なところへ支援
をお願いしているが順調ではない。この投影
の良さを知る全国の人々から応援され寄付
が少しずつ集まる一方で、見せたい地元から
の支援はなかなか集まらないという。

「様々な人がつなげた星を一人でも多くの方
に共に見ていただきたい」と笑顔で話す塚田
さん。プラネタリウムの楽しさを体験共有
し、ぜひ応援していただけたらと願う。

柏崎☆みんなでプラネタリウム — 私たちと星をつなぐ、30分の宇宙旅行 —

9月28日(土)
柏崎・夢の森公園エコハウス2F
10時～16時40分の間、6回投影
予約受付優先 (当日空きがあれば受付可)
<http://hoshitsumugi.main.jp/web/kujira>
(予約フォームWEB受付)

9月29日(日)
県立こども自然王国 TEL 0257-41-3355
10時～15時40分の間、5回投影
予約優先 (当日空きがあれば受付可)

【2会場共通】*小学生以下は保護者同伴
各回定員40名 大人500円・高校生以下無料
星空ワークショップ
バリアフリー (車いすの方はご予約時にお知らせください)



お問い合わせ

柏崎みんなでプラネタリウム実行委員会
「星くじらのしっぽ」

代表 塚田真理子 TEL 090-4328-2760
hoshikujira@hoshitsumugi.main.jp